

特に記載がない場合の受付時間は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時です。詳しくは、市公式サイトをご覧いただけます。

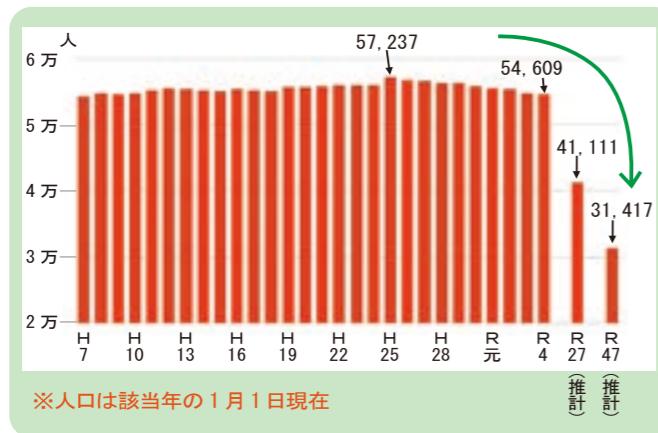
56 平成 27 年度	7 %
58 平成 28 年度	1 %
60 平成 29 年度	1 %
61 平成 30 年度	6 %
62 令和 元 年度	7 %

■公共施設やインフラの老朽化



過去に整備した公共施設やインフラの老朽化が進み、更新や修繕の必要性が高まっており、今後多額の維持更新費用が見込まれます。

【人口の推移】



令和7年度には団塊の世代が75歳以上となり、22年度には団塊ジュニア世代が65歳以上となり高齢人口がピークを迎えるとともに、介護ニーズの高い85歳以上人口が急激に増加することが見込まれます。

■人口減少・少子高齢化

人口は平成25年をピークに減少傾向になり、今後もさらに減少し、同時に少子高齢化が進むと見込まれます。こうした状況に対応したまちづくりを進めていく必要があります。

■財政健全化に向けた取組み

- 行政サービスの見直しを行い、経常経費の削減を図ります。
- 公共施設の総合的な見直しを行い、整理統合などにより総量の抑制を図ります。
- 事務の合理化と組織の見直しを進め、人件費の抑制を図ります。

優先度の高い市民サービスの提供や必要不可欠な公共施設の維持に財源を振り向けるとともに、将来にわたり社会が持続的に発展していくための、ハード・ソフト両面からの投資を行っていく

直面している課題

■扶助費の増加

社会保障制度の充実により、扶助費が増加し、今後も増加が見込まれます。

※扶助費：生活保護費や障害福祉サービス費など

持続可能な財政への転換

■財政健全化に向けた取組み

- 羽村市が持続可能なまちとして将来にわたり発展していくため、財政の健全化に向けた取組みを進めます。
- 行政サービスの見直しを行い、経常経費の削減を図ります。
- 公共施設の総合的な見直しを行い、整理統合などにより総量の抑制を図ります。
- 事務の合理化と組織の見直しを進め、人件費の抑制を図ります。

財政健全化に向けて～羽村市財政の現状と課題～

市税収入の低迷、社会保障費の増加、基金枯渇の危機… 打開策を展開中

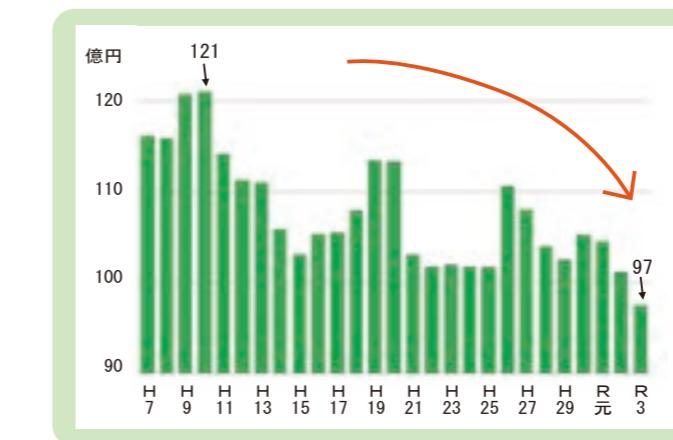
市の厳しい財政状況を開拓するため、継続的に行財政改革に取り組んでいます。今後もより強力に改革に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を願います。

問合せ 財政課④ 316

※数値は、令和2年度までは決算額、令和3年度は当初予算額を使用しています。



【市税収入の推移】



収入の根幹をなす市税が、ピーク時（平成10年度）から20億円以上減少しています。

財政の現状

■市税収入の減少

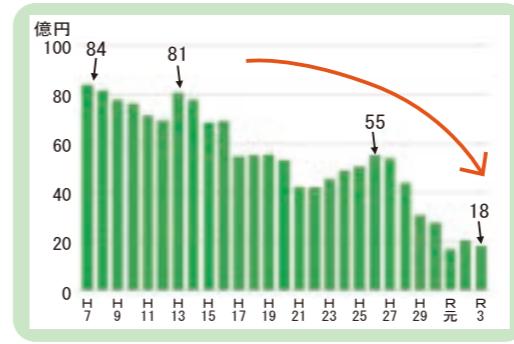
平成20年のリーマンショック以降、景気の後退や税制改正の影響による市税の減収が続き、近年は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による所得の減少や社会保険料控除、ふるさと納税などの税額控除の伸びなどにより、市税収入が減少しています。

【経常収支比率の推移】



平成28年度から5年連続で経常的な支出が経常的な収入を上回っており、財政の健全化が喫緊の課題となっています。

【基金残高の推移】



收支の支出超過を補うために基金（市の貯金）の取崩しが増え、残高は大幅に減少しています。

■基金の減少

※経常収支比率…経常的な経費に、市税などの経常的な一般財源（市が使途を決められる財源）がどのくらい使われたかを表す比率

経常的な収入に対し、経常的な支出が超過している状態です。

■支出の超過

市の財政は厳しい状況が続いている。市税収入が低迷する一方、社会保障費の増加などにより収支が悪化し、市の貯金である基金は減少し、枯渇が懸念される状況です。